



キャンナス釧路の取組

取組のタイトル	酪農地域の高齢者の外出支援 「JA はまなかデイサロン」
取組の時期	(始期) 平成 18 年 10 月～ 継続中
関連する SDGs の ゴール・ターゲット	 
取組内容	<p>浜中町の酪農地域における家族構成は、2 世代家族が 41.7%、3 世代家族が 35.3%と、核家族よりも多世代の拡大家族が多い現状の中、広大な原野に点在する形で住宅があるため、車の運転ができない高齢者は、家族の協力、もしくは近隣で運転のできる知人の協力なくしては思うように外出できる環境がありません。</p> <p>また、通院等の同行も、家族にとって酪農作業の繁忙期には負担となり、また高齢者もそのことを気遣い、家に閉じこもることが多くなってしまふ、そんな現状がありました。</p> <p>農協女性部からは 10 年来、そうした家族内での介護負担、問題点が指摘され、介護問題解決策の一つとして、介護する家族の支援を主な活動の主旨としている「キャンナス釧路」が、浜中町農協の委託を受け、酪農地域における高齢者に対する外出支援活動「JA はまなかデイサロン」を 2006 年 10 月に開設しました。</p> <p>「JA はまなかデイサロン」とは介護保険外での活動であり、介護の必要のない元気なお年寄りの方たちが気軽に利用しやすいように、「デイサービス」ではなく「サロン」と名付けて参加を声かけし始めたのがきっかけです。</p> <p>デイサロンは週に一度、農協の空部屋を利用して開かれ、朝、送迎バスにて酪農地域の各牧場に居住する高齢者の方をお迎えに行き、サロンまでお連れします。</p> <p>サロンでは看護師が血圧測定や健康相談を行い、個々で自由にお買い物や美容室、診療所の受診、郵便局、役場などでの用足しをしたり、おしゃべりや体操、ゲームをしたりと、思い思いの自由な時間を過ごして頂き、夕刻、各自自宅まで送迎する、というのが一日の流れです。</p> <p>高齢者が 1 日一人外出できることは、同居家族にとっても助かります。</p> <p>デイサロンは農協がキャンナスに委託して行っている介護保険外での活動であるとはいえ、すべての運営費を農協が負担しているわけではありません。</p> <p>まず利用者様は送迎と昼食付で 1 回 1,500 円（現在はコロナ禍のため午前中のみの開催・1 回 500 円）の利用料を負担しています。</p> <p>農協は、キャンナス釧路への委託料と、サロンにかかる備品や昼食代、送迎バスの燃料代等を負担しています。</p>

デイサロンのスタッフは、地域住民のボランティアです。
送迎バスの運転は、地域の運送会社が、企業の社会貢献の一つとして、無償で請け負ってくれています。

昼食（コロナ禍以前）は農協の惣菜店舗が、お年寄り向けの食べやすい昼食メニューを、通常の業務の合間をぬって毎回工夫して提供して下さっています。

このように、デイサロン運営は、関わっているひとりひとりが、自分にできることをできる範囲で少しずつ負担していくことで支えられている、まさに多職種連携による活動です。

デイサロンの開始によって、以前に比べ心身ともに元気になったお年寄りが増えたこと、ご家族にとっても息抜きの時間が確保されたこと、それら双方が意識の面で良い効果が表れてきたことなどが、2009年に浜中町農協が行った「第7次浜中町農協中長期計画策定に関するアンケート調査結果報告書」において、概ね良い評価を得てきていることがわかります。

加えて竹内による浜中町の高齢者の健康長寿に関する基礎調査においても、ご家族と同居されている方のデイサロン活動参加者は多く、高齢者、家族、ともに活動に対する相乗効果があるものと考えます。

地域の高齢者が健康であることは、同居する家族の介護負担軽減となり、酪農経営が安定して行われる、そのことが酪農を生業とする地域全体において一番の活性化につながっていく、という好循環をもたらすものと考えます。

これまでこの町の酪農を支えてきて下さった高齢者の方たちを、地域で支えていくことは、私たち若い世代の務めでもと思います。

浜中町農協とキャンパス釧路、さらに多くの地域住民たちが協力、連携し、支え合っているこの活動が、地域の高齢者の疾病予防と、健康増進のための一助となれることを、私は今後も目指しています。



夏のスイカ割りの様子



リハビリ指導の様子